

せちゃんへ

小松 美耶子

せちゃん、戦争で最低だよ。残酷だ

よね。戦争という言葉、だれが考えたんだ

ろうね。何の罪もない人達が生死を彷徨って

いる姿なんて、私にはとても想像できないよ。

せちゃん、戦争で、おなかもすかして、い

たんでしょ。私なんて、一日三食食べてるし、

おかわりもしてる。おやつだってあるよ。贅

沢な話だよ。もしせちゃんが、私の家に

遊びに来てくれたら、温かいほかほかの白い

ご飯やおみそ汁、それから私の大好きな鯖

の塩焼きとお母さんの作ったおつけものを

ちそうしてあげたいな。もちろんせちゃん

のお兄ちゃん、清太さんもお招待するからね。

あ、私のお小づかいで、せちゃんの大好

きなドロップも買ってあげる。

せちゃんに聞きたいんだけど、お母さん

が死んでしまっただという事を聞いた時、どんな

気持ちだった？ 私は大好きなお母さんがいな

くなったら、もう目から涙なみだが出てこなくなる
 くらい、泣いて泣いて、もう立ち直れないか
 もしれない。なのにせっちゃんはいえういね。
 お母さんの死を受け止めて。絶対悲しかっ
 はずなのに。大声で泣きたかっただろうに。
 四歳のせっちゃんなりに、お兄ちゃんにめい
 わくをかけないようにがまんしたんだね。
 そしてせっちゃんはドロツアと同じくらい
 螢ほたるが大好き。お兄ちゃんとかまえてきた沢たく
 山の螢えが朝死んでしまっっていた時、せっちゃん
 には螢のお墓はかをつくったよね。今の時代は、
 本来なら生きていたはずの魚や肉を食べ残し
 たり、戦争せんそうみたい人間同士を殺し合ったり
 して、尊とんい命いのちを粗末そまつにあっかう人間が沢山い
 るんだ。でもせっちゃんは、命を大切にしてい
 るよね。火垂るのお墓をつくったのは、そう
 いう事なんじゃないのかな。それは、とっ
 もステキで、素晴らしい事だと思う。私、そ
 んなせっちゃんが好きだよ。素直で、思
 やりがあって、無邪気むじゃきで。とっ
 ても尊敬そんけいして

る。

最後に一つ言わせてね。セッちゃんにと
ては、四年間の短い人生だったかもしれな
いけど、命は長さじゃなくて、質なんだよ。

私のこの言葉を信じて、天国では宝石を
りばめたようなキラキラした笑顔でいてほ
しいな。

ぴっかぴかな姿みたい。